

コンクリート診断士試験対策

(山形 雄也)

① 私のコンクリート診断士合格までの道のり

2020 年 受験：結果は不合格

自己採点すらしていません。

そもそも合格を目指すレベルではなく、勉強もほとんどしていませんでした。(正確にはコンクリート診断士の資格取得を諦めておりました)

2021 年 3 月 十河塾に参加

2021 年 11 月 合格 自己採点 選択 30/40

塾に参加した当時の私は過去問の採点は 10 点台と記憶しております。

独学で勉強していても全く理解不能でした。過去問を解いても問題の意味が理解出来ない。解説を読んでも理解不能でした。

② 試験までのスケジュール

基本は塾の進行に合わせて勉強しました。

※十河塾を参加するからには予習をしていくことをお勧めします

予習の有無で自分の理解度に大きく差が出ます。

③ 受験に向けて行ったこと

最初はとにかく勉強の質より、勉強時間を確保することを習慣付けました。

1 日の中で決まった勉強時間を確保することは容易ではないですが、30 分の勉強時間を 4 回確保しようと考えました。

例えば始業時間までの 30 分、昼食後の 30 分、外回りの喫茶店での 30 分、寝る前の 30 分ととにかく 1 日決めた時間を、連続でも細切れでも確保をすることを決めました。

空いた時間は勉強時間として活用できるように、必要資料は全て iPad にデータ収集し、常に持ち歩きました。

コンクリート診断士の試験範囲は多岐にわたる為、短い時間で区切った勉強はかなり効果的だったと感じております。

④ 勉強資料として活用したもの

メインは過去問 5年分 (余力で過去7~8年前までさかのぼりました)
基礎知識、辞書的の活用として : キーワード120 (著作 十河先生)
知識の深堀として : 合格指南 (著作 十河先生)

(講習会終了で配布されるコンクリート診断技術基礎編、応用編はほとんど開いておりません。終盤に色々と気になってくる箇所がありその時に辞書的に活用した程度です)

途中、過去問メインでの勉強では答えを覚えてしまっていて勉強の意味がないと何度も思いましたが、資格取得の目的は知識の習得ということはありませんが、合格することが最重要課題だと割り切って勉強しました。

※ただ全ての問題を暗記するという事ではなく、私の場合は考えても理解出来ない問題は今、理解するのは時間の無駄使いと考え、せめて問題と答えだけでも暗記したほうが効率よく進められると考えました。

ただ、そのように後回しにした理解不能な問題でも勉強を続けていくうちに理解できるようになっていく問題がほとんどでした。

2021年もそうでしたが、過去問を解いていくと問題、回答の配列、計算問題の数値までコピー貼り付け状態の問題が数問出されました。

その中には過去問を丸暗記したひとしか正当出来ないのではないのかと思う問題もありました。

診断士試験での2~3点の差は間違いなく合否の分かれ目になると実感しました。

⑤ 私なりにアドバイスできること

十河先生、江良先生の講義もおそらく過去問の解説がメインになるのかと思います。

独学では理解出来なかったことが講義を受ける事で理解出来るようになります。

ただ、最初は呪文のような専門用語の羅列で挫折しそうになります。

それでも講義に合わせて予習・復習を繰り返すことで必ず理解できるようになります。

記述式については塾の終盤に記述式の講義が始まると思います。選択問題が合格圏内になった頃には不思議と記述式が書けるようになっております。

逆をいうと、選択問題が合格圏内にないと記述式では合格点をとる内容を書くことが難しいと実感しております。

塾では文法等を中心に添削して頂きました。私自身、特段に難しいこと、専門的なことを書けたとは思いません。

ただ、十河塾の卒業のころには専門用語で記述式が書けるようになっていたと思います。

※私なりに思った事を書かせて頂きましたが、これから試験まで長丁場になります。

合格するには継続する忍耐力が勝負になります。

時間を確保するという事では家族の協力も必要だと思います。

そして十河先生、江良先生を信じてそれぞれに合った勉強方法にて進めて頂ければ結果を出せると思います。